

YourDesk

case 01



株式会社アプラス様

YourDeskは、 多様な働き方を可能にする フリーアドレスに最適なツール

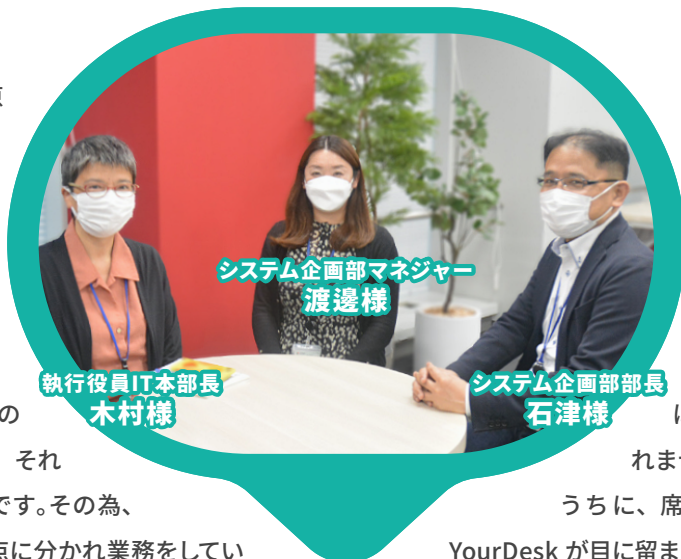
フリーアドレスはいつから 導入されていましたか？

当社の IT 本部は 2019 年に秋葉原から新川に移転を行いました。その際に IT 本部所属の人数が多くなり、当初予定していた座席数では足りなくなっていました。社員はそれほど増えていなかったのですが、システム開発の都合でプロジェクトごとに業務委託の方や派遣の方が増えることがあり、それがちょうど重なった時期だったのです。その為、一部の部署が秋葉原に残り 2 拠点に分かれ業務をしていたのですが、2020 年 5 月にテレワークの環境が整い出勤者が 30%以下になったことから 2020 年 12 月にオフィスを新川に集約しました。オフィス集約後、このフロアは 4 つの部署となり、それぞれの部署内で限定的なフリーアドレスを取り入れたという感じです。

御社にとって、フリーアドレスには どのようなメリットがあるのでしょうか？

一時的には席数の調整が必要だったということがありますが、やはり普段あまりなじみのない人、違う部署の人と隣同士になり、コミュニケーションを取ることで新しいアイデアが創出されることを期待しています。近くにいる顔を合わせれば、必然的に会話が生まれます。多様な意見や考え方が行き交うことで、新しいアイデアが生まれるかもしれません。上層部の意向も、セレンディピティによる新たな価値の創造を期待して、フリーアドレスを推進しようということでした。

YourDesk を導入したきっかけを お聞かせください



当社は新生銀行グループの一員ですが、新生銀行では当社より先行してフリーアドレスを導入しました。聞くところによると、どうしても同じ席に座る傾向があるということです。フリーアドレスなのに席が固定されたのでは、先ほどお話ししたメリットが生まれません。そこで、いろいろ調べていくうちに、席をランダムに選ぶ機能がある YourDesk が目に留まりました。

今年 9 月から本格的にフリーアドレスを導入する予定だったので、メリットが生かせるツールを探していたのですが、YourDesk を見つけたのが 7 月だったのでしょうか。9 月には間に合わないかもしれないと思いながら、御社に連絡したところ、営業担当の方がすぐに動いてくれて、「これはありがたい！」と思いました。何しろ上から催促されていたので（笑）IT 本部全体としてはフリーアドレスを推進する方向ではあったのですが、懸念する声もありました。新型コロナウイルスの感染可能性がある人が出たときに、どこに座っていたか、周囲に誰がいたかなどをすぐに確認する必要があるため、固定席がいいという意見は根強くありました。YourDesk を使えば、どこに誰が座っていたかが分かるので、その心配をクリアできます。さらに、気軽に導入できる価格設定だったことも、YourDesk の導入を決めた理由のひとつです。連絡したらすぐに対応いただき、細かな説明から設定までレスポンスよくやってもらえました。9 月には間に合わないと思っていたのに、ほぼ 1 カ月で導入でき、難なく運用しています。

株式会社アプラス様

YourDeskは、 多様な働き方を可能にする フリーアドレスに最適なツール

YourDesk を利用している部署と人数、座席のタイプをお聞かせください

利用している部署は 4 部署、ID 登録者は常駐メンバーが 154 名、来客者や外部ベンダー作業員への貸出用 ID が 42 です。座席数は 118 席で、一般の執務スペース、集中ブース、リラックスエリア、フリースペースなどに分けられています。一般の執務スペースは、社員 + 派遣用と、業務委託者用でエリアを分けており、これは法規制上、業務委託をしている方たちと分離することを求められているためです。リラックスエリアは、通常の席よりテーブルの前が開放的なので、ゆったりした気分で仕事ができるのではないかと思います。

スケジュール管理は Outlook のスケジューラーを利用しています。さらに YourDesk を使って照会すれば、リモートなのかオフィスのどこの席にいるかが分かります。

導入後の従業員のみなさんの 反応はいかがですか？

一度説明会をただけですが「よく分からない」とか「ここをこうして欲しい」という声は特にありませんでした。全員に支給している業務用の iPhone を利用して、どこにいてもずっと予約できるようになっています。グループ内には座席予約を一切行わない部署や、SharePoint で座席予約の仕組みを作っている部署もあります。SharePoint を利用するとパソコンを立ち上げて、会社の ID やパスワードを入れなくてはなりません。それに比べ YourDesk を iPhone で利用するほうがはるかに楽だと思います。

座席や ID 登録は全て設定して頂いたのですが、管理者として実際に自分ではしていませんが、説明を聞く限り、かなり簡単に設定できるのではないかと思います。設定後の予約方法も簡単だし、ID の登録も簡単。削除もすぐできるし、メンテナンスの上でも管理者がする操作が簡単で、いたって気軽に使えます。導入時にはすべて設定していただけるプランもあるし、仮にそれがなくても、サポートセンターのようなものがあれば、設定も自分でできるのではないかと思います。

フリーアドレスに関するエピソードなど、 あればお聞かせください

これまでは会社へ来ることが仕事だという風潮があったと思うのですが、この考え方は変えたいと思いました。仕事をするのに最適な場所が選べれば、よりよい生活もできます。

グループ全体としては兼業や副業とか認めていますので、そういったことにもいきいきと取り組めるようにするためのオフィスが、フリーアドレスの導入によって新たな価値の創造の場になればと願っています。

エピソードといえば、コロナ禍の間に半年くらいかけて、紙の稟議書を電子化したことでしょうか。電子化前は社内で大量の稟議書のやり取りがありましたが、現在は電子化されて紙のやり取りがなくなったため、キャビネットに保管する書類がかなり少なくなりました。

在宅勤務を始めるにあたってペーパーレス化が必要でしたし、各機のキャビネットを机から切り離さないと、固定席になることが避けられないと思いました。そうして IT 本部では元々他の部署に比べ保管書類は少ない方でしたが、それでも段ボール箱で 43 箱の書類が倉庫入り。廃棄したのも 40 箱近くあります。つまり段ボール 80 箱分くらいの紙がオフィスからなくなったことになります。

だからこそフリーアドレスのオフィス設計ができたのです。フリーアドレスはペーパーレス化とセットで進めるものだと思います。



株式会社アプラス様

YourDeskは、 多様な働き方を可能にする フリーアドレスに最適なツール

YourDeskを導入したことへの期待や今後の展望をお聞かせください

新生銀行グループでは単なるフリーアドレスではなく、ABW(ActivityBasedWorking)を進めています。その時々自分の仕事の内容や状況に応じて、自由に働く場所を決めるということを推進しているのです。新生銀行では、リモートワークを利用して、単身赴任していた人が家に戻ったり、両親がいる実家に行ったりすることもあると聞いています。当社はまだそこまでいっていませんが、今後は自由度を増していくことが考えられます。

このように多様な働く場所の組み合わせによって、それぞれの人たちの働き方を最適化しながら、オフィスはオフィスでさまざまな仕事や文化の交流ができ、当社だけでなく新生銀行グループとしているんな企業戦略につながればいいと思っています。たとえば IT の分野でいえば、お客様が何か申し込む仕組みを構築する際、銀行から見ても当社から見てもお客様には違いないですし、求められる機能には同一のものが多くあります。

各社それぞれに構築するよりも、同じ機能を共通のものとして構築する方が効率的です。公式に相談することもできますが、ここ新川オフィスには当社だけでなく新生銀行や昭和リースの IT 分野の人たちがいますので、コラボレーションルーム（グループ各社メンバーが自由に使える自販機のあるスペース）での会話の中から情報入手やアイデアが湧くことがあることを期待しています。

YourDesk —— スタッフ一同より

インタビューした日はなんと木村様のお誕生日の日と！笑顔が絶えない暖かい雰囲気の中で、インタビューにお答えいただきました。今後もより良いサービスをお届けできるよう邁進してまいります。ご協力、ありがとうございました。

※インタビュー時はマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを確保しております。

2021/11/19

インタビューにご協力いただいた企業様

株式会社アプラス

<https://www.aplus.co.jp/>

当社は、新生銀行グループにおける消費者向けファイナンスの主要な子会社グループとして、グループ融合による革新的な金融サービスを提供し、リッチなオペレーションと卓越した生産性・効率性を実現しつつ、ショッピングクレジット事業、カード事業、ペイメント事業などを中心とした事業を展開しております。アプラスグループは、今後も自己変革とスピーディーな行動で新しい変化に挑戦し続け、持続的な成長を続けるとともに、お客さまと提携先、メーカーとの結節点として付加価値の高い金融サービスを提供することで、お客さまの豊かさづくりと、夢のある社会生活の創造に貢献してまいります。



新生銀行グループ